

# 東青の環境公共だより

"地域づくりの新しいかたち"環境公共

東青版第8号 令和2年11月5日 発行/東青地域環境公共調整会議事務局 〒030-0861 青森市長島二丁目10番3号 東青地域県民局地域農林水産部農村計画課 TEL 017-734-9992 FAX 017-734-8312

### 東青管内の取組

東青地域は、県都青森市と東津軽郡の5市町村で構成されています。青森市の市街地周辺では、近年ほ場整備が進み大規模稲作農業が展開されています。また、農村地域では稲作などの水田農業やりんごなどの果樹栽培がさかんに行われています。

このような地域の豊かな農林水産業を支え、本県における「攻めの農林水産業」の推進にもつなげるため、東青地域県民局地域農林水産部では、農業・林業・水産業の3分野で連携しながら「環境公共」の活動を行い、健全な水循環システムの再生・保全へ向けた取り組みを進めています。

「東青の環境公共だより」は、東青管内における今年度の主な取組を広く県民に知っても らうために発行しています。その他の取組については、東青県民局地域農林水産部のホーム ページに掲載していますので、是非ご覧ください。

(アドレス <a href="http://www.pref.aomori.lg.jp./soshiki/kenmin/hi-nosui/nousonseibi.html">http://www.pref.aomori.lg.jp./soshiki/kenmin/hi-nosui/nousonseibi.html</a>)

## 今年度のイベント

### ●上小国地区ビオトープ池の木橋補修(中山間ふるさと・水と土保全対策事業)

令和2年9月24日(木)に、外ヶ浜町上小国地区環境公共推進協議会がビオトープ池の木橋の補修作業を行いました。

このビオトープ池は平成20年度から24年度にかけて実施したほ場整備事業を契機に、環境公共の取組として整備されたものですが、近年、橋が経年劣化により渡ることができない状態でした。

そこで、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」を 活用し、木橋をかけ替える補修作業を実施しました。

きれいに並んだ丸太は、補修前と比べて、とても丈 夫になり、安全に橋を渡れるようになりました。

さらに、本地区では毎年地元の子供達に向けた生き 物の観察会を行っているため、来年度以降は安全に観察会 が行えるように池の周りに転落防止柵を設置する予定です。



今回補修する橋



支柱を打ち込む様子



丸太を運ぶ様子



丸太を設置する様子

#### 環境公共の取組

#### ●山本地区 経営体育成基盤整備事業 (外ヶ浜町)

本地区の水田は、青森県東津軽郡外ヶ浜町に位置し、小区画・不整形の未整備地帯であり、農道の幅員が狭いため、農業機械での作業に支障をきたしている他、水路は用排水路兼用の土水路で、暗渠排水が施工されていないなど排水対策に苦慮している状況にありました。

そこで、平成28年度から「経営体育成基盤整備事業」により、区画整理と暗渠排水の施工を実施し、労働時間の短縮及び生産性の向上を図ることを目的に、ほ場の大区画化や道路等の整備を行っています。

右の写真は暗渠排水の被覆材として、陸奥湾特産のホタテの 貝殻を活用して埋め戻しを行った様子です。

県内で年間に排出されるホタテの貝殻は約4万5千トンであり、その処理が長年の課題となっています。ホタテの貝殻は本来産業廃棄物として処理されますが、舗装材料の一部として活用したり、本地区のように暗渠排水の被覆材とすることで、地域資源を有効活用しています。

このような地域資源の活用は、「環境公共」が目指す3つの 目標のうち、『持続可能で循環型の農林水産業の実現』、『地球 環境問題への貢献』として青森県が積極的に取り組んでいます。

#### 環境公共とは?

青森県では、"農林水産業を支えることは地域の環境を守ることにつながる"との観点から、農林水産業の生産基盤や農山漁村の生活環境などの整備を行う公共事業を「環境公共」と位置付けています。

青森県環境公共ホームページ

(http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyoukoukyou.html





ホタテの貝殻



山本地区位置図

#### ◆事業概要

工期:平成28年度~令和3年度

事 業 費: 475,000 千円 事業内容: 区画整理 24.0ha 他

# 最近の話題

#### ●環境公共プロジェクト「東青地区緑の少年団交流集会」

令和2年10月4日(日)に、外ヶ浜町おぐにふるさと体験館で東青地区緑の少年団交流集会を行いました。

この交流集会は、ヒノキあすなろ緑の少年団と今別緑の少年 団が参加し、青森県の森林、林業、水循環に関する理解を深め てもらうために開催されました。

農村計画課からは水循環の説明を行い、水が自然の中で循環 し、やがて私たちの元へ帰ってくるという話に少年団の皆さん は耳を傾けていました。

今回の交流集会をとおして、青森県の森林、林業、水循環に 関して興味を持っていただけたと思います。



水循環の説明

また来年度以降も引き続き今回のようなイベントを実施する予定です。